



平成22年3月5日

各 位

会 社 名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正明
 本社所在地 福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号
 (コード番号 8 3 5 4 東証第一部、大証第一部、福証)
 問 合 せ 先 経営企画部長 横田 浩二
 (TEL. 092-723-2502)

ふくおかフィナンシャルグループ「第三次中期経営計画」の策定について

ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長兼社長 谷 正明）は、今後3年間（期間3年：平成22年4月1日～平成25年3月31日）の経営計画「第三次中期経営計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

本計画を基に、グループ一体の経営戦略を展開し、広範なネットワークによる充実したサービスを提供してまいります。

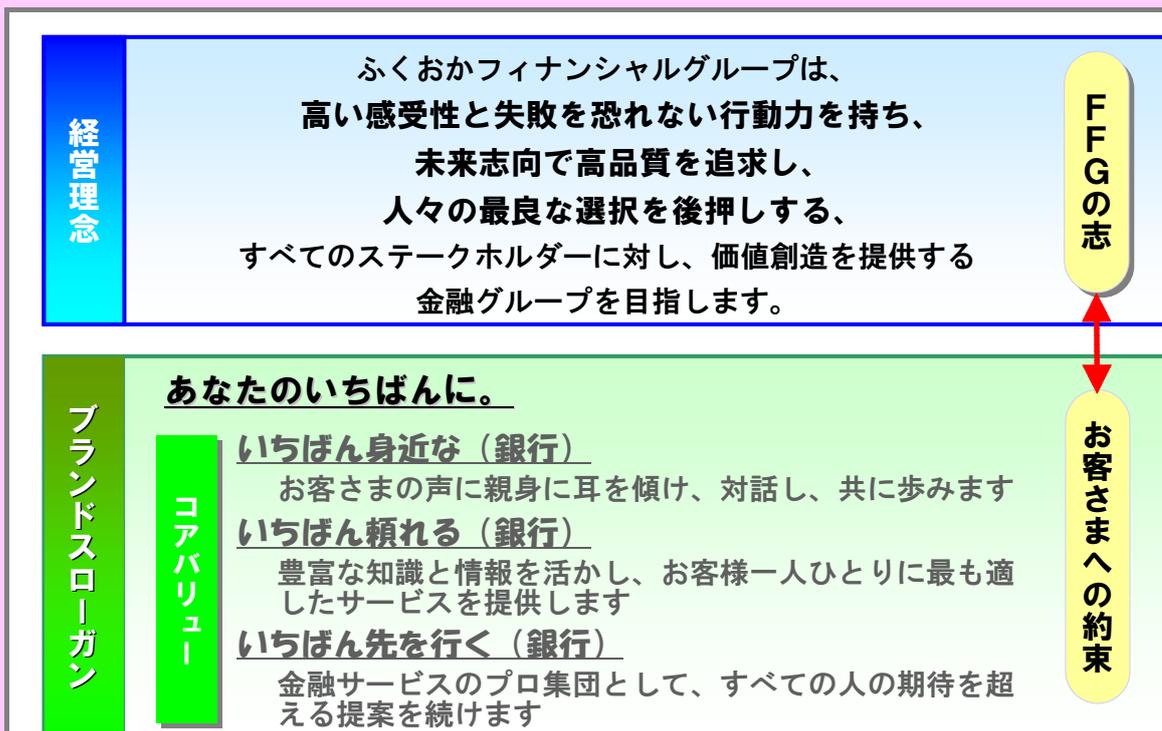
1. 第三次中期経営計画のネーミング

当社グループは、統一的なグループ経営理念により、株主の皆さま、地域社会、お取引先、従業員等様々なステークホルダーに対して、価値創造を提供してまいります。そのために、グループ内外でのコミュニケーションを通して、「いちばん身近な」「いちばん頼れる」「いちばん先に行く」銀行グループを目指してまいります。

今中計は、ブランドスローガンである「あなたのいちばんに。」を徹底的に追求することが計画の根底であることから、『ABCプラン～Always Best for the Customer～』と名付けました。

FFG 第三次中期経営計画 ネーミング

『 A B C プ ラ ン ～ Always Best for the Customer ～ 』

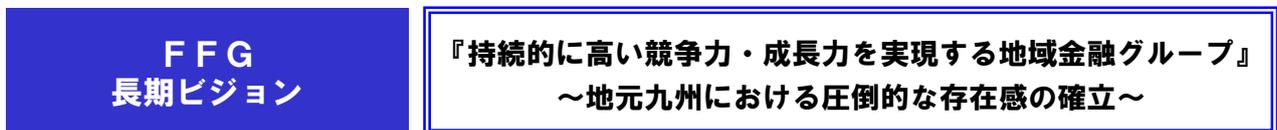


2. 本中計の位置づけとFFGが目指す将来像

当社グループは、19年4月の設立に合わせ「第一次中期経営計画」を策定後、19年10月の親和銀行のグループ完全子会社化を機に「第二次中期経営計画」として再スタートさせました。

FFG創設期にあたる第二次中期経営計画では、将来の「飛躍的成長ステージ」に向けた「助走ステージ」と位置付け、各種経営インフラ・営業インフラの整備・構築、不良債権処理を中心としたバランスシートの改善に注力してまいりましたが、本年1月の親和銀行との事務・システム統合を完了し、次なるステージに進める体制を整えることができました。

本中計では、経営インフラを徹底的に活用して生産性を劇的に向上させるとともに、営業面での積極展開を巡航速度で進める「加速ステージ」に移行し、高度で良質な金融商品・サービスを提供することで、グループ銀行3行がそれぞれのカバーエリアで営業基盤を拡大し、企業価値の持続的な成長を実現する『質・量ともにトップクラスの地域金融グループ』を目指します。



■ 本中計の位置づけ



3. 第三次中期経営計画の基本方針と重点取組

F F G「第三次中期経営計画」は、『お客様とのリレーション強化』『生産性の劇的な向上』『F F Gカルチャーの浸透』『安定収益資産の積上げ』の4つの基本方針とそれぞれの基本方針に基づいた重点取組で構成します。

基本方針	重点取組
F F Gカルチャーの浸透	<ul style="list-style-type: none"> ●人財強化 ●意識改革 ●コンプライアンス強化 ●CSR経営の実践
お客様とのリレーション強化	<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業取引の推進 : 「事業活動そのものをサポート」 ●個人取引の推進 : 「人生設計そのものをサポート」 ●中小企業金融の円滑化 : 「経営改善支援の取組強化」 ●商品・サービスの拡充 : 「お客様視点に立ったチャネル展開」
生産性の劇的な向上	<ul style="list-style-type: none"> ●人員体制再構築 ●事務改革 ●I Tパフォーマンス向上
安定収益資産の積上げ	<ul style="list-style-type: none"> ●優良資産増強 ●リスク管理強化

基本方針①『お客様とのリレーション強化』

- お客様の声に耳を傾け、お客様目線に立った提案を続けるために、お客様との接点、対話、取引関係を拡大します。

「中小企業取引の推進」	✓お取引先の事業活動に資するあらゆる課題を解決（再生支援、財務強化、事業拡大、海外進出等）する事業活動のパートナーを目指します。
「個人取引の推進」	✓口座開設から相続相談までライフサイクルに応じた商品・サービスを提供する一生涯のパートナーを目指します。
「中小企業金融の円滑化」	✓お取引先の経営改善を早期に実現するための「能動的な支援態勢」を構築します。
「商品・サービスの拡充」 (チャネル展開)	✓お客様が来店しやすい・利用しやすい店舗作りに積極的に取り組みます。 (店舗建替、店舗移転、店舗機能強化、A T Mサービスの3行共通化)

基本方針②『生産性の劇的な向上』

- 第二次中計で構築した経営インフラを徹底活用するとともに、事務インフラ、I Tインフラ、人財インフラの最適化を図ることで、生産性を劇的に向上させます。

「事務改革」	✓従来の事務プロセスを徹底的に見直す（ペーパーレス化対応等）ことで、お客様の利便性（待ち時間短縮・事務ミス削減）を劇的に向上させます。
--------	---

基本方針③『F F Gカルチャーの浸透』

- お客様の期待に応えるために、失敗を恐れずに進化・変革する心を持つことと、成長のために日々研鑽する組織風土を共有します。

「人財強化」	✓お客様のパートナーになることができる（個人取引・中小企業取引ができる）人財を育成します。
「C S R経営の実践」	✓地域金融グループとしての役割・特性を活かして、持続可能な社会を実現するため、様々な変革と価値創造に寄与する活動を展開します。 (環境ビジネス分野への商品・サービス展開、職場体験の拡充等)

基本方針④『安定収益資産の積上げ』

- 環境変化に左右されない安定収益資産を積上げることで、強固な収益基盤を構築します。

4. 目標とする経営指標

F F G 「第三次中期経営計画」における目標とする経営指標は、「3行合算コア業務純益」「連結当期純利益」「3行合算OHR」の3指標とします。

なお、上記3指標以外に「連結Tier I 比率」「連結不良債権比率」及び「子銀行の主要指標」は、「第三次中期経営計画」のシナリオを前提に次のような水準を見込んでおります。

		『金利横這時』			『金利上昇時』
		22年度	23年度	24年度	24年度
目標指標	3行合算コア業務純益	775億円	900億円	1,000億円	1,100億円
	連結当期純利益	250億円	315億円	400億円	460億円
	3行合算OHR	59%	55%	50%	50%未満
目安指標	連結Tier I 比率	6%台後半	7%	7%	同左
	連結不良債権比率	2%台	2%台	2%台	同左

参考：子銀行の経営指標（目安）

		22年度	23年度	24年度	24年度
福岡銀行	コア業務純益	615億円	700億円	760億円	850億円
	当期純利益	275億円	320億円	360億円	415億円
	OHR	53%	50%	40%台半ば	40%台前半
	Tier I 比率	10%台半ば	10%台半ば	10%台半ば	同左
	不良債権比率	2%台	2%台	2%台	同左
熊本ファミリー銀行	コア業務純益	70億円	80億円	90億円	90億円
	当期純利益	40億円	32億円	40億円	35億円
	OHR	70%	60%台半ば	60%台前半	60%台前半
	Tier I 比率	7%台半ば	7%台後半	8%台	同左
	不良債権比率	1%台	1%台	1%台	同左
親和銀行	コア業務純益	90億円	120億円	150億円	160億円
	当期純利益	55億円	82億円	120億円	130億円
	OHR	70%台	60%台後半	60%	60%以下
	Tier I 比率	7%台半ば	7%台後半	8%台後半	同左
	不良債権比率	2%台	2%台	2%台	同左

*前提条件（金利シナリオ）

金利横這：21年度下半期 0/N金利0.10%、TIBOR3ヶ月0.46%、SWAP10年1.45%、日経平均10,000円

：22年度以降 0/N金利0.10%、TIBOR3ヶ月0.46%、SWAP10年1.45% 日経平均10,000円

金利上昇：23年度～24年度にかけて計4回の政策金利引き上げ

0/N金利0.10%～1.00%、TIBOR3ヶ月0.46～1.25%、SWAP10年1.45～2.20%
日経平均10,000～14,000円

5. 配当方針

FFGはすべてのステークホルダーに対し、価値創造を提供する金融グループを目指すとともに、株主の皆さまのご期待にお応えするために、業績連動型の配当方式（配当テーブル）を設定し、連結当期純利益の水準に応じて配当金をお支払いする方針といたします。

連結当期純利益水準	1株あたり配当金目安
～250億円以下	年間 7円～
250億円超～300億円以下	年間 8円～
300億円超～350億円以下	年間 9円～
350億円超～400億円以下	年間 10円～
400億円超～450億円以下	年間 11円～
450億円超～500億円以下	年間 12円～
500億円超～550億円以下	年間 13円～
550億円～	年間 14円～

但し、事業展開やリスク環境等により変更することがあります。

6. 平成22年3月期の連結業績予想について

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表いたしました連結業績予想から変更ございません。

平成22年3月期第3四半期の当社連結四半期純利益は295億円と通期予想の280億円を上回る進捗でありましたが、第4四半期において親和銀行のシステム統合に伴う除去費用等があるため、通期業績は予想とほぼ同程度となる見込みです。

(注) 上記計画および業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

参考：平成21年5月15日公表の業績予想

FFG連結	経常収益	2,645億円
	経常利益	337億円
	当期純利益	280億円
3行合算	コア業務純益	741億円
	当期純利益	400億円

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
ふくおかフィナンシャルグループ
経営企画部（藤井・東・花田）
電話 092-723-2502